

生体の科学

SEITAI NO KAGAKU

Vol.72 No.4 — 2021 Jul. - Aug. **目 次**

特集 グローバル時代の新興再興感染症への科学的アプローチ

特集「グローバル時代の新興再興感染症への科学的アプローチ」

によせて 長谷川秀樹 280

I. 呼吸器感染症へのアプローチ

SARS, MERS そして SARS-CoV-2 松山州徳 281

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 治療薬へのアプローチ 渡士幸一 285

インフルエンザの抗 HA ステム抗体とユニバーサル

ワクチン 齊藤慎二・鈴木康司・小谷 治・相内 章 289

インフルエンザウイルス感染に対する免疫応答 長井みなみ・一戸猛志 294

新型コロナウイルスワクチンの開発 長谷川秀樹 297

II. AIDS へのアプローチ

システムウイルス学

—未知のウイルスの姿を描出する新しいウイルス学 佐藤 佳 301

III. デング・ジカ・SFTS・出血熱へのアプローチ

デングウイルス感染防御における適応免疫の解析および

ワクチン・治療法開発への応用 Meng Ling Moi 306

SFTS 患者検体を用いた病理学的探索によるウイルス性出血熱の

新規発病機構の発見 宮本 翔・鈴木忠樹 311

ラッサウイルスの細胞侵入阻害薬の

開発 武長 徹・張 子涵・野田岳志 316

タンパク質の立体構造情報を活用した抗フィロウイルス薬の探索 五十嵐 学 321

ラッサウイルス・エボラウイルスに対する

創薬研究 泉澤文子・水谷龍明・浦田秀造 326

ウイルス RNA が制御するダニ媒介性脳炎の

新規病態発現機序 平野 港・好井健太郎 330

IV. パラミクソウイルス、肝炎へのアプローチ

組織中に潜在する RNA ウイルスの網羅的探索手法の開発 福原崇介 335

構造生物学的手法による麻疹・ムンプスウイルスの細胞侵入

および侵入阻害機構の研究 橋口隆生 339

パラミクソウイルスの RNA 合成におけるシャペロンタンパク質

の役割 加藤大志 344

連載講座 ヒトを知るモデル動物としてのゼブラフィッシュ

連載講座「ヒトを知るモデル動物としてのゼブラフィッシュ」を

始めるにあたって 岡本 仁 348

ゼブラフィッシュを使った遺伝子操作 木村有希子・東島真一 350

解説

細胞接着分子 CADM1 の示す多彩な機能と病態への関与 村上善則 356

仮説と戦略

感染症数理モデルと COVID-19 稲葉 寿 361

書評 365 次号予告 366 あとがき 367